

九月議会で同意した人事案件

九月議会では、左記の二件の人事案件への同意が求められ、同意、推薦決定されました。

公平委員会委員の選任について

岡山市北区天神町六番四八号

土居幸徳

人権擁護委員候補者の推薦について

津山市南方中一八一四番地五

榎本真弓

九月議会に提出された請願の審議結果

- 三十人以下学級実現、教員賃金改善、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択要請について
- 「地方財政の充実・強化を求める意見書提出について」の請願

→採択
↓継続審査



第十一回「森林を考える岡山県民のつどい」が十月二十三日にグリーンヒルズ津山で開催されました

津山商業高校吹奏楽部による演奏に始まり、林野庁次長の沼田正俊氏による「森林・林業の再生について」の基調講演が行われました。

また、苗木の無料配布、親子ふれあいコーナー、岡山県北のB級グルメの出店や特産品の販売などもあり、たくさんの人出でにぎわいました。

「一言ご意見をお書きください」

「ボックスを設置しています」



議場傍聴席の入り口に、アンケート用紙を置いておりますので、ご意見、ご住所、お名前をお書きください。議会だよりに載せるときは匿名で掲載します。市民の皆さんのご意見をお待ちしています。

九月議会に傍聴に来ていただいた方は、百七人でした。

表紙写真の説明

今回は、東幼稚園、河辺幼稚園、大崎幼稚園に撮影に行きました。

- 東幼稚園に通園している児童（園児）は、五十人です。教育目標は「心豊かでたくましい子どもを育てる」で「健康で安全な生活に必要な習慣や態度を育てる」ことを指導の重点にされています。

- 河辺幼稚園に通園している児童（園児）は、三十人です。教育目標は「心豊かで思いやりのある子どもの育成」で「児童が自己を發揮し、一人ひとりの個性を活かす指導に努める」ことを指導の重点にされています。

- 大崎幼稚園に通園している児童（園児）は、二十一人です。教育目標は「心身ともにたくましく、人間性豊かな子どもを育てる」で「一人一人の児童が発達に応じて望ましい経験を積み重ね、身近な人と親しみ、人とかかわる力を身につける」ことを指導の重点にされています。

広報調査特別委員会メンバー

◎末永弘之 ○吉田耕造

秋山幸則、岡田康弘、田口慎一郎

西野修平、野村昌平、原行則



宮地市政は、今まさに、宮地航空編隊が離陸したところであります。

航空機は離着陸のわずか数分間の間が、一番事故の多い危険な時であり、コックピットが一番神経を使います。

宮地航空編隊の態勢は大丈夫でしょうか。レーダーや計器に誤りはないでしょうか、燃料はどうでしょうか。

機長（市長）の信条が正しく編隊・組織に伝達される仕組みができているのでしょうか。市長はしっかりと操縦かんを握っておられますか。もしかしたら、既に誰かが、自動操縦のスイッチを押しているかもしれません。しっかりと、宮地市長のリーダーシップが必要であると私は思っています。市民目線に立った、施策が構築され、そして実施されることを望みます。（耕）

何かがおかしい。口蹄疫の流行がようやく終結したら異常な暑さの日が続き、熱中症で搬送される人が増えている。暑い。暑い。何回言えば涼しくなるのかなあ。（康）

広報に携わることで、広報のあり方について調査研究を行い市民の視点に立ち、信頼される『開かれた議会』を目指しています。このことに四年間も関われ感謝の気持ちでいっぱいです。

日本全体の政治改革、議会改革、公務員制度改革といふ三点セットの戦後最大の流れの中で、津山市は如何にあるべきか。今、市民目線での信頼と理解が問われています。

(昌)